



京セラ株式会社

<https://www.kyocera.co.jp>



会社案内サイト



当パンフレットは、環境への負荷低減に配慮し上記を採用しています。

当パンフレットの情報は、特別な記載がないものは2023年6月時点のものです。

当パンフレットを、無断で複製、転載することを禁じます。

© 2023 KYOCERA Corporation

J23-6

CORPORATE PROFILE
2023/2024

Our Future, Together



世界中の人びとと、未来への一歩を。

世界を取り巻くさまざまな社会課題を
技術の力で解決し、より良い未来をつくれな
その想いの原点は、人類や社会の進歩発展に貢献する
という京セラの理念にあります。

ひとりの人間として、そして社会の一員として。
私たちはこれまで培ってきた技術やノウハウといった強みを生かし、
これからも世界中の人びととともに
社会課題の解決に向けた挑戦を続けてまいります。

グループの力を結集し、新たな価値を創造し続けていきます。



代表取締役会長
山口 悟郎

代表取締役社長
谷本 秀夫

京セラは1959年の創業以来、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」という経営理念のもと、着実に事業を展開してきました。

現在、産業や社会構造の変化は、これまで以上のスピードや規模、ならびに新たな視点で進んでいます。その結果、多くの事業機会が見込まれる一方で、真のグローバル企業としてさまざまな社会課題に取り組むことも求められています。京セラグループが事業活動を通じて社会課題に取り組み、持続的に企業価値の向上と社会への貢献を果たし、これからも経営理念を実現し続けるためには、従来の考え方や慣習にとらわれず、さらなるチャレンジを続けていくことが必要だと考えます。

時代の変化に即応するスピード感を持ち、京セラグループの有する技術力と経営資源を活用し、全従業員それぞれが能力を最大限に発揮することで、さらなる企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

社是

敬天愛人

敬天愛人

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
天を敬い 人を愛し 仕事を愛し
会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる(LIVING TOGETHER)ことをすべての企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。

心をベースに経営する。

京セラは、資金も信用も実績もない小さな町工場から出発しました。頼れるものは、なけなしの技術と信じあえる仲間だけでした。会社の発展のために一人ひとりが精一杯努力する、経営者も命をかけてみんなの信頼にこたえる、働く仲間のそのような心信じ、私利私欲のためではない、社員みんなが本当にこの会社で働いてよかったと思う、すばらしい会社でありたいと考えてやってきたのが京セラの経営です。人の心はうつろいやすく変わりやすいものといわれますが、また同時にこれほど強固なものもないのです。その強い心のつながりをベースにしてきた経営、ここに京セラの原点があります。



創業者
稲盛 和夫

京セラは、社会情勢、国際社会の動向やステークホルダーの期待などから取り組むべき社会課題を定め、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

京セラグループの経営理念は、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」です。企業活動を通して国際的な目標であるSDGsの達成や社会課題の解決に貢献することは、私たちの使命と考えています。



京セラが取り組む主な社会課題

事業活動を通じて世界が抱えるさまざまな社会課題を解決していきます。



気候変動対策の強化



主要工業国の
労働力不足の解消



水・天然資源の
持続的な利用



交通関連事故防止と
快適な移動手段の確保



技術革新による
情報インフラの拡充



医療労働力不足の解消と
医療費の削減

経営の基盤

京セラフィロソフィとアメーバ経営を企業活動の基盤とし、社会課題の解決に努めています。

京セラフィロソフィ

京セラフィロソフィは、「人間として何が正しいか」をものごとの判断基準におき、すべての行動において、公明正大でまじめに一生懸命努力していくことの大切さを示す人生哲学、経営哲学です。

アメーバ経営

アメーバ経営とは、組織を小集団に分け、市場に直結した独立採算制により運営し、経営者意識を持ったリーダーを育成し、全従業員が経営に参画する「全員参加経営」を実現する経営手法です。



情報通信



自動車関連

注力する4つの重点市場

私たちが持つ強みをさらに伸ばし、京セラグループのシナジーを高めながら、社会課題の解決に向けて4つの重点市場に注力していきます。



環境・エネルギー



医療・ヘルスケア

いつでもどこでも
遠隔で自由に働けるっていいね。

ネットワークであらゆるものをつなぎ、 情報通信の未来を創造しています。

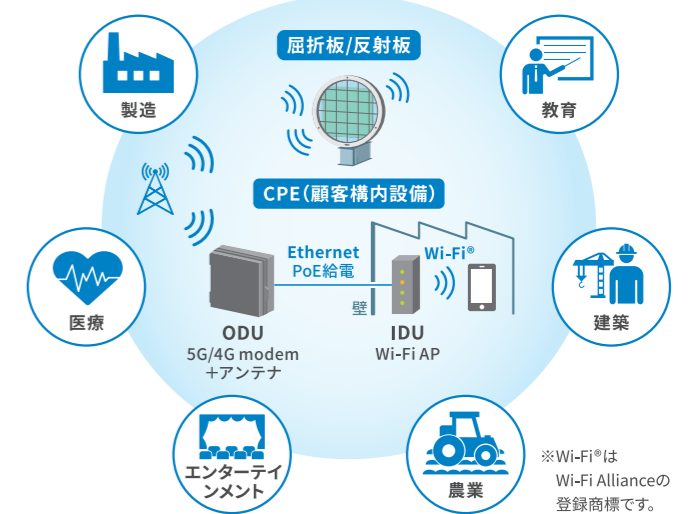
変化を続けるグローバル社会において、より便利で快適な通信環境の実現が求められています。京セラは長年にわたり培ってきた通信技術により、用途や目的に合わせたスマートフォンなどの通信端末、IoT (Internet of Things)、さらにはサポートなど、最適な通信環境を提供することで、未来の情報通信社会の実現に貢献していきます。

● さまざまな場面の課題を5G通信で解決

5Gミリ波 インフラ関連機器

普及が進む5G通信。今、より高速な通信が可能で、より多くの通信トラフィックをカバーする「ミリ波」に注目が集まっています。京セラは、長年の通信事業で培ってきたさまざまな技術を結集し、メタサーフェス屈折板/反射板、CPE (顧客構内設備) など、5Gミリ波インフラ関連機器の研究・開発を進めています。本来の5Gの可能性を引き出す「ミリ波」に対応した多様なインフラ関連機器を提供することで、遠隔ロボットによる製造現場の人員不足解消、高精細動画による遠隔監視の効率化といった幅広いシーンでの課題解決を実現します。

5Gミリ波の展開市場



※Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

製品・ソリューション紹介

通信機器からサービスまでを トータルサポート

端末・デバイスの製造から修理・リサイクルまで、真摯なものづくり「JAPAN MADE」をコンセプトに、スマートフォンや、IoTデバイス、カスタマイズ機器、それらに伴うサポートサービスなどを展開しています。



高耐久モデル TORQUE® 5G対応デバイス K5G-C-100A MCAアドバンス無線機 KC-PS701

※「TORQUE」は京セラ株式会社の登録商標です

お客様のビジネスに貢献するサービスを提供

複合機・プリンター / ECM※1・CSP※2ソリューション
環境性と経済性に優れた複合機・プリンターから商用インクジェットプリンターまで幅広くラインアップ。さらに、企業内のあらゆる情報、データを包括的に一元管理・運用することで、業務効率や生産性を向上させるECM・CSPソリューションを提供しています。

※1 ECM (Enterprise Content Management)
※2 CSP (Content Services Platform)



複合機・プリンター

商用インクジェットプリンター

情報通信社会の基盤となる部品を供給

電子部品 / 半導体関連部品

スマートフォンから産業機器まで、あらゆる電子機器に搭載。高品質なものづくりで、情報通信社会のベースとなる部品をトータルに提供します。



セラミックコンデンサ タンタルコンデンサ 水晶デバイス セラミックパッケージ 有機パッケージ

半導体製造装置用 ファインセラミック部品

高精度、高温耐久性、化学的安定性が求められる、製造装置を支えるファインセラミック部品を提供。高集積化・高品質化に貢献しています。



半導体製造装置用

目に見えない技術で
守られているんだって。

車載部品とインフラの両面から 安心で安全なモビリティ社会の実現を目指します。

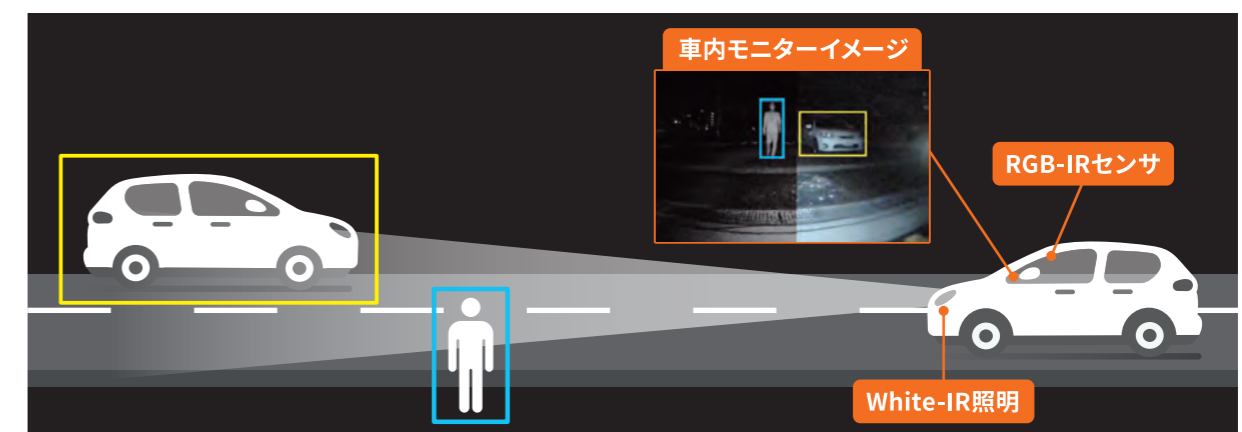
自動運転システムや先進運転支援システム(ADAS)、環境問題への対応など、自動車業界は大きな変革が求められています。京セラは交通インフラおよび自動車の安全性能向上など、安心で安全なモビリティ社会を支える技術・製品を展開しています。

● 世界初^{*}のセンシングシステムで安心・安全な交通社会の実現

車載ナイトビジョンシステム

夜間や雨・霧といった視界が悪い環境であっても、安全な運転を支援できるよう危険要因になり得る物体を高精度に認識・表示するシステムを開発しています。白色光と近赤外光の光軸を一致させた世界初のヘッドライト「White-IR照明」で物体を照射し、車両搭載した「RGB-IRセンサ(可視光と近赤外光センサ)」で撮影。独自のフュージョン認識AI技術が撮影画像データからの高精度な物体検出を可能にしています。

※白色光と近赤外光をひとつの素子(SMD)に組み込んだヘッドライトにおいて(2022年9月京セラ調べ)



製品紹介

安全性向上や運転者の負担軽減を実現

カメラモジュール

高い信頼性と撮影性能で、自動車の操作性と安全性の向上に貢献しています。



車載ミリ波レーダー用基板
障害物検知に用いられるアンテナ機能を備えた基板です。



ヘッドアップディスプレイ用液晶ディスプレイ

フロントガラスにスピードやアラームなどを投影。高精細化・高集積化技術により、くっきりと鮮やかに表示します。



車載向けコネクタ

基板実装のズレや振動を吸収するフローティング構造の基板対基板コネクタなど豊富なバリエーションを取りそろえています。



環境に優しく高性能な車載部品

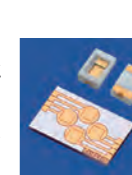
酸素センサ用ヒーター

排ガス中の酸素濃度を検知するセンサを始動直後の低温時から素早く作動させ、排ガス低減に貢献しています。



LED用パッケージ

車載高輝度LED用として最適な超小型・低背表面実装を実現。高い熱放散性を誇ります。



電気自動車用部品

電気自動車などのモーター駆動と充電の電流切り替えに用いられ、高い信頼性に応えます。



この先も明るい未来が
続きますように。



地球に優しいエネルギーを活用し、 持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

「クリーンエネルギーの普及を通じて世のため、人のために貢献する」という想いのもと、これまで約半世紀にわたり太陽電池の開発・供給・保守を続けてきました。さらに蓄電池や関連製品の拡充に加え、電力エネルギーサービス事業も展開し、これからも地球環境の保護や脱炭素社会の実現に貢献していきます。

● 環境負荷低減に貢献する独自技術のエネルギー製品

クリーンエネルギーとして 活用する京セラの3電池

太陽の光から電気をつくる「太陽電池」。電気を蓄え、災害時、非常用電源としても活用できる「蓄電池」。水素と酸素で発電し、発電時の熱でお湯もつくる「燃料電池」。これら創エネ・蓄エネ・省エネの3電池を展開しています。

人工知能(AI)で企業や工場の需要量や発電量を予測し、建物やエリア単位でエネルギー全体の需給バランスの制御を行うことで、地域や企業・工場における電力融通の課題解決に向けた実証実験を進めるなど、持続可能なスマートシティの実現を目指します。



※SOFC(Solid Oxide Fuel Cell): 固体酸化物形燃料電池

製品・ソリューション紹介

サステナブルな捺染を実現するインクジェット テキスタイル プリンター

FOREARTH(フォアース)※1

従来の捺染※2は、洗浄工程をはじめ大量の水が使われ、その排水による水質汚染が大きな問題となっています。「FOREARTH」は、前処理、洗浄、スチームなど多くの水を使う工程を省いたウォーターフリーコンセプトをベースとし、水使用量を大幅に削減。ファッション業界の環境負荷低減に貢献します。

※1「FOREARTH」は京セラ株式会社の日本またはその他の国における登録商標、または商標です
※2 捺染とは生地にも模様をプリントすること



(プリント例)

さまざまな分野で人と環境に優しい製品開発を推進

LED照明 CERAPHIC®

紫色LEDとRGB蛍光体により、自然光に近い優しい光や高級感のある光など多様な色再現性により、美術館や飲食店など、さまざまなシーンで空間を華やかに彩ります。

※「CERAPHIC」は京セラ株式会社の登録商標です



セラミックナイフ(バイオ素材ハンドル)

持ち手部分に、植物由来のバイオポリエチレンを使用し、石油由来素材の使用量を低減。また、パッケージは、紙製のオールカートンパッケージを採用し、廃棄プラスチック排出量削減に貢献しています。



新しい技術のおかげで
まだまだ人生を楽しめそうだ。

**先進技術の研究開発を推進し、
医療のさらなる発展とQOLの向上を目指しています。**

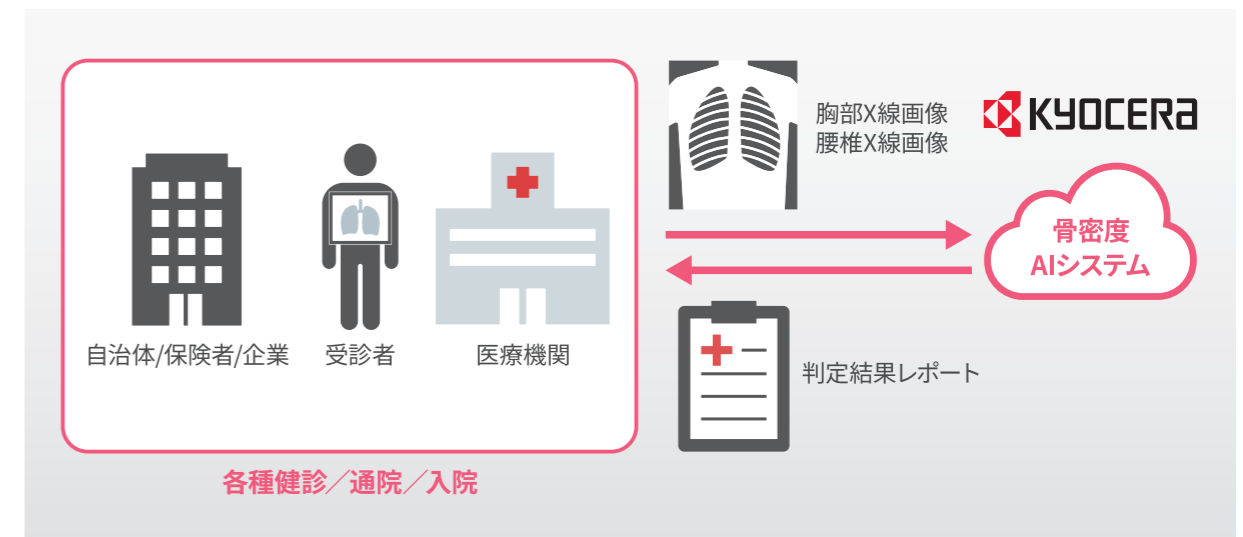
人工関節やデンタルインプラントなど、失った身体機能を回復する医療用製品の展開に加え、日々の健康管理をより便利にする独自システムや、高度医療を可能にするさまざまなデバイスを開発しています。さらに、健康寿命を延ばす予防医療のトータルソリューションを提供し、人びとのQOL(Quality of Life)向上に貢献していきます。

● **健康診断から疾病の早期発見を実現する**

AI骨粗しょう症診断補助システム

骨粗しょう症は、骨折のみならずさまざまな疾患の原因となるなど、寝たきりや介護につながるリスクを高めるため、早期発見・早期治療が人々のQOLの維持や医療費の抑制に欠かせません。

京セラでは、骨粗しょう症の早期発見のため、東京大学と共同研究に取り組んでいます。健康診断や訪院時に撮影されたX線画像を用いて、AIによる骨密度推定を行うことで、スムーズに精密検査や診断につなげます。



製品紹介

医療用製品の開発や再生医療分野への参入を推進

人工関節／デンタルインプラント
セラミックスと金属の材料技術および表面処理技術により開発した、人工関節やデンタルインプラントなどの医療用製品を提供しています。

長寿命型人工股関節を目指す技術

抗菌性と骨伝導性・骨固定性を両立させる技術



高度な医療を可能にする高品質なデバイス・部品を提供

細胞分離・濃度計測デバイス
血液などから特定の細胞を自動で分離し、濃度を計測します。今後も需要が高まるライフサイエンス分野の研究開発において、検査・分析における作業時間の短縮や省人化に貢献します。



FA・医療用光学ユニット

独自設計のレンズと照明・カメラを組み合わせ合わせた撮像用の光学ユニットを提供しています。



さまざまな領域で製品・サービスを展開し、社会課題の解決に取り組んでいます。

京セラはこれまで培ってきた技術やノウハウをさまざまな領域で活用。各産業や日常生活を支える事業を多岐にわたって展開し、労働力不足の解決や幅広い市場への応用展開などにも貢献していきます。

● AI×ロボットで労働力不足を解消

AI協働ロボット・システム

独自のAI活用技術を用いてプログラミング作業(ティーチング)を大幅に削減し、協働ロボットを自律的に作動させるシステムを開発しています。生産現場において人間の代替手段としてのニーズが高まっている協働ロボットの活用を進めます。



AI協働ロボット・システム

● 幅広い市場への応用展開を推進

レーザーダイオード製品

高効率・高出力が可能であるGaN(窒化ガリウム)製レーザーダイオード製品の開発を行っています。レーザー照明、自動車のヘッドライトのほか、Li-Fi通信※や給電などの光伝送用、殺菌処理用など、さまざまな用途での活用が期待されています。



レーザーダイオードモジュール 車載用ヘッドライト(イメージ)

※Li-Fi通信:レーザー光やLEDなどの光を使用した無線通信技術

製品・サービス紹介

さまざまな産業用工具を展開し、各産業の発展に貢献

切削工具から空圧工具・電動工具まで、総合工具メーカーとして幅広い市場に対応しています。



切削工具

空圧・電動工具

情報通信社会や、環境エネルギーの基盤を支えるサービスを提供

お客様の課題を解決するITソリューションを提供するほか、通信インフラ、太陽光発電施設の構築・運用なども行っています。



ITソリューション

通信・環境エネルギーエンジニアリング事業

日々の生活を豊かにする製品やサービスを展開

京セラ独自の技術を生かした宝飾品やキッチングッズ、また“心からの笑顔でのおもてなし”をコンセプトとしたホテル事業など、さまざまな領域で高いクオリティの製品やサービスを展開しています。



宝飾品

セラミックキッチングッズ

ホテル京セラ(鹿児島県霧島市)

ホテル日航プリンセス京都(京都府京都市)

共創・協業を推進し、多様化するニーズに応えることにより常に新たな価値を創造しています。

グループ横断のグローバルなネットワークに加えてM&Aやオープンイノベーションを積極的に推進。私たちは、新たな価値を常に最先端で創造する開拓者であり続けます。

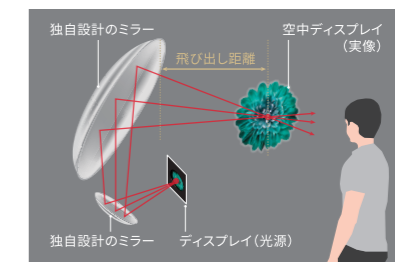
● 先端技術でさまざまな生活シーンに根付いたソリューションを提案

高精細 空中ディスプレイ

独自設計のミラーを折りたたむように配置することで小型化を可能にした光学設計技術とこれまで培ってきたディスプレイ・レンズ技術を融合し、高精細・高画質でリアリティのある映像を実現した空中ディスプレイです。医療分野や美術館・店舗での展示ディスプレイ、自動車のダッシュボードなど高精細映像が不可欠な用途で活用が期待されています。



空中ディスプレイ



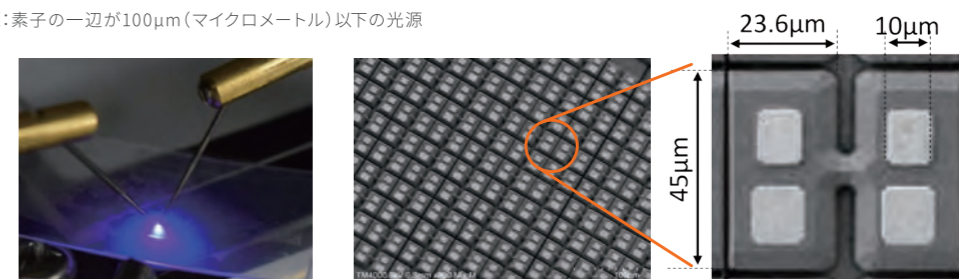
京セラ独自の空中ディスプレイの仕組み

GaN※1系微小光源※2

京セラは、短共振器レーザー・マイクロLEDに代表されるGaN系微小光源の開発を推進。独自開発の基板と工法により、高品質なマイクロLEDや半導体レーザーを低コストで生産することが可能になります。高精細かつ小型軽量という特長から、透過型ディスプレイやVR・AR分野での活用、さらに通信・医療分野への応用も期待されています。

※1 GaN:窒化ガリウム

※2 微小光源:素子の一辺が100μm(マイクロメートル)以下の光源



主な研究開発施設

研究開発の中核拠点として、グループ内の材料、部品、デバイス、機器・システム、ソフトウェアの研究開発に加え、生産プロセス技術に関わるグローバルな研究ネットワークを構築しています。



京セラみなとみらいリサーチセンター(神奈川県横浜市)

京セラけいはんなリサーチセンター(京都府相楽郡)

きりしまR&Dセンター(鹿児島県霧島市)

KYOCERA SLD Laser, Inc.内 Santa Barbara Innovation Center(米国 カリフォルニア州)







※GaN(窒化ガリウム)製デバイスの開発

社会課題起点で 事業活動を推進しています。

企業が持続的に成長するには、社会に貢献することが重要と考えています。私たちは、持続可能な社会を目指し、サステナブル経営を推進しています。

イニシアティブへの参画・社外からの評価

京セラグループでは、ESG(環境、社会、ガバナンス)の取り組みへ積極的に参画しており、社外からも評価をいただいています。

 <p>WE SUPPORT UN GLOBAL COMPACT</p> <p>国連が提唱する グローバル・コンパクトに 参加</p>	 <p>FTSE4Good</p> <p>ESGへの優れた対応を 行っている企業としてFTSE 4Good Index Series選定</p>	<p>Member of Dow Jones Sustainability Indices Powered by the S&P Global CSA</p> <p>ESG投資指標のひとつである 「Dow Jones Sustainability Index (DJSI)」選定</p>	
 <p>TCFD</p> <p>気候関連財務情報開示 タスクフォース(TCFD)の 提言に賛同</p>	 <p>厚生労働省より、優良な 子育てサポート企業として 「プラチナくるみん」認定</p>	 <p>世界的な情報サービス企業の クラリivate社が実施する「Top 100 グローバル・イノベーター 2023」に2年連続で選出</p>	 <p>SCIENCE BASED TARGETS</p> <p>DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION</p> <p>温室効果ガス削減目標が 「SBT (Science Based Targets)」の認定を取得</p>

社会課題起点の事業事例

約半世紀におよぶ太陽光発電事業

地球環境に極力負荷をかけずに、持続可能な社会を発展させるためにはどうすればいいか。その答えのひとつが、再生可能エネルギーである太陽光発電です。私たちは、1975年に太陽電池の研究開発をスタートして以来、「世界の人のびと生活を地球環境に優しく、豊かなものにする」という強い想いを持ち、事業を継続しています。



鹿児島七ツ島メガソーラー発電所

社会貢献活動

京セラグループは、社会の一員としてステークホルダーから信頼を得られるよう、今後も、社会と共生し、健全な持続的発展に寄与する社会貢献活動を推進してまいります。



稲盛財団 京都賞への支援

科学や文明の発展、人類の精神的深化へ貢献した人に贈る国際賞を支援しています。



子どもたちへの環境教育支援

環境問題やエネルギーをテーマに、小学生向けの出前授業を行っています。



京都サンガF.C.への支援

Jリーグクラブのサポートや、スポーツ施設のネーミングライツ取得を通じて、地域活性化に貢献しています。

©KYOTO.F.C.

持続的な成長の実現に向けて、 グローバルに事業を拡大しています。

環境変化への対応力強化と新規事業の創出を加速させるため、主要事業を3つのセグメントに集約。各部門の連携強化および迅速かつダイナミックな経営戦略の実施を通して、事業領域の拡大を図っています。

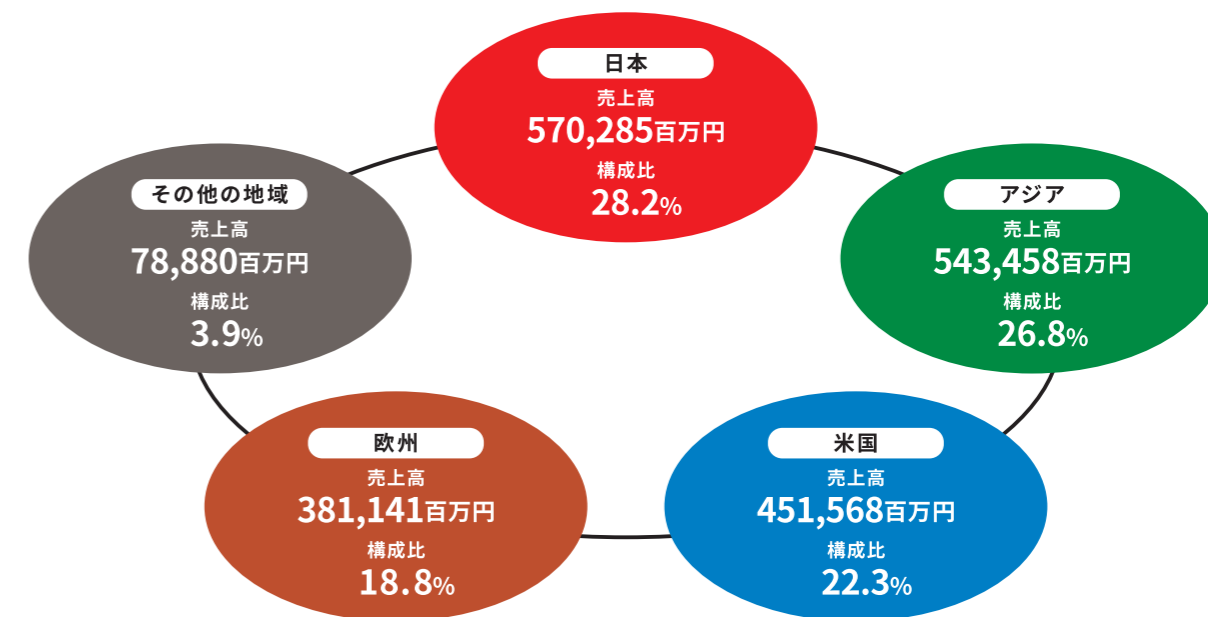
会社概要 (2023年3月31日現在)

社名：京セラ株式会社 (KYOCERA Corporation)	グループ会社数：298社(京セラ(株)を含む)
本社：京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地	グループ従業員数：81,209名 (持分法適用子会社、持分法適用関連会社は除く)
設立：1959年4月1日	
資本金：115,703百万円	
連結売上高：2,025,332百万円(2023年3月期)	
税引前利益：176,192百万円(2023年3月期)	

事業セグメント別売上高構成比(連結) (2023年3月期)

コアコンポーネント	29.2%	ソリューション	52.8%	その他の事業	1.2%
産業・車載用部品	9.8%	機械工具	15.2%	調整および消去	△1.9%
半導体関連部品	18.0%	ドキュメントソリューション	21.5%		
その他	1.4%	コミュニケーション	10.3%		
		その他	5.8%		
電子部品	18.7%				

地域別売上高および構成比(連結) (2023年3月期)



創業以来、最先端技術と製品の開発によって
新たな領域への挑戦を続けています。

京セラの歴史は、1959年のブラウン管テレビ向け絶縁部品「U字ケルシマ」から始まりました。ファインセラミック技術を応用展開することで数々の製品開発に成功し、新たな市場を開拓し続けています。今後もグループシナジーの追求と共創・協業により京セラの総合力を発揮し、新市場・新事業の創出に取り組みます。



1959
「京都セラミック株式会社」
として創業

1982
「京セラ(株)」に
社名変更

